

重点課題（案）について

1 重点課題設定にあたっての考え方

- 当圏域における病床機能の現状や病院の病床利用率の高さ等も踏まえ、医療機関間、介護施設等及び在宅医療との連携について、検討を進めていくことが必要である。
- 新公立病院改革プランは2020年度が終期となることから、今年度（2019年度）中に2021年度以降の取組方針等について、情報提供、情報共有を図っていくことが必要である。

2 これまでの議論等の内容

- (1) 【医療機関間の役割・機能の分担と連携】についての意見交換
 - 東胆振圏域地域医療構想調整会議病院部会
開催日：平成30年12月5日（水）
- (2) 【病院等における医療と在宅医療、介護サービスとの連携体制の構築】についての意見交換
 - 東胆振圏域地域医療構想調整会議
開催日：平成31年3月18日（月）
- (3) 【新公立病院改革プランの進捗状況及び2021年度以降取組方針について】
情報提供
 - 地域医療構想説明会
開催日：令和元年7月25日（木）

3 重点課題（案）

- (1) 医療機関間における役割・機能の分担と連携
- (2) 医療機関と介護サービス・在宅療養との連携体制の構築
- (3) 公立病院における2021年度以降の取組方針

4 これからの議論等の方向性

(1) 医療機関間の役割・機能の分担と連携

- 各医療機関は、圏域等に関する情報に基づき、定期的に担うべき役割、機能分担に関し、現状把握及び今後の方向性について検討し、当調整会議（及び病院部会）において、必要に応じた協議を行う。（意向調査結果も活用）

(2) 医療機関と介護サービス・在宅療養との連携体制の構築

[苫小牧市、各町における取組]

- 東胆振圏域医療介護連携推進協議会（1市4町で構成。定住自立圏共生ビジョンに基づく協議会）における協議。
 - ・ 1市4町の在宅医療・介護連携推進事業の実施状況について情報共有。意見交換。北海道医療計画東胆振地域推進方針の数値目標等を市町別に設定することについて協議。
- 苫小牧市地域ケア推進会議 在宅医療・介護連携部会（医師会、日胆緩和ケア研究会、歯科医師会、薬剤師会、理学療法士会、看護協会、訪問看護連絡会、ソーシャルワーカー協会、地域包括支援センター協議会、ケアマネージャー連絡会、とまこまい医療介護連携センター、高齢者等の地域ケアを進める会：H30の構成）における協議。
 - ・ 在宅療養時の多職種による情報共有のための「連携手帳」と、基本的な「連携マナー」を作製。

[苫小牧保健所における取組]

- 東胆振保健医療福祉圏域連携推進会議
 - ・ 北海道医療計画東胆振地域推進方針の進行管理を実施。（在宅医療の提供体制）
- 多職種連携協議会運営事業
 - ※上記協議会等へオブザーバーとして出席。本運営事業として位置づけ。
 - ・ 東胆振地域の高齢者施設における看取りに関する実態調査の実施
 - ・ 研修会〔(仮)在宅看取りについて：2月頃開催を予定〕
 - ・ 北海道医療計画東胆振地域推進方針（P69）に記載の「医療と介護の連携を図るため、情報共有のためのルール等の検討や作成などの取組を推進し地域全体で活用できるよう連携を図ります。」を推進するための検討を行う。
- 看護連携推進検討会議（病院等の看護管理者等）
 - ・ 地域包括ケアシステム構築に向けて、入退院支援・在宅療養支援について協議、検討。

[苫小牧市医師会における協議、検討]

- 苫小牧市医師会事業検討委員会
 - ・ 在宅医療の推進について、苫小牧市と協議。
- ※ 在宅医療に関する情報共有に向けた検討を開始。

(3) 公立病院における 2021 年度以降の取組方針

- 各公立病院は、当調整会議（及び病院部会）において、新公立病院改革プランの進捗状況及び 2021 年度以降の取組方針について、定期的に報告を行い、地域医療構想に沿ったものとなっているか、必要に応じた協議を行う。

なお、特に近年中に改築予定がある場合は、中長期的視野に立った検討をおこない、報告を行うこととする。